

第3学年 総合的な学習の時間指導案

期 間 5月～12月

本 時 平成16年10月5日(火)5校時

児 童 男17名 女14名 計31名

指導者 阿部 広宣

1. 単元名

「大豆のへんしん」 ～ついせき！大豆のゆくえ～

2. 単元のねらい

大豆は、どのような形に姿を変えて私たちの生活に役立っているかについて、興味を持ち、課題を設定することができる。

栽培、観察、体験、インタビューなどの方法を取り入れ、大豆の栽培から食品加工に至るまでの過程を意欲を持って調べることができる。

調べたことや考えたことが相手に分かるようにまとめたり、発表したりすることができる。

大豆のよさと自分たちの「食」との関係を考え、健康な生活を送るための意識を持つことができる。

3. 単元について

昔から大豆は、豆腐や味噌や醤油、納豆など、日本の食文化に欠かせない作物である。貴重なタンパク源として様々に加工され食されてきただけでなく、近年では健康食品として見直され、私たちの生活と深く結びついている。大豆から栄養を取り入れているように、私たちが生涯にわたって健康で生きていくためには、「食」や「健康」についての知識を身に付け、理解を深め、自分自身で安全に意識した「食」の選択ができる力の育成が必要である。

そこで本単元では、私たちの生活と深くかかわりのある大豆に目を向けて調べ学習をすることで、大豆の栽培や大豆の栄養や色々な食品として有効に利用されていることなどについて知り、大豆が生活に欠かせない大切な作物であることを意識できると考えた。そして、大豆のよさを知り、これからの自分たちの「食」を見直し、健康を考えて生活していくことができるのではないかと考え、本単元を設定した。

4. 児童の実態

本学級の児童は、5月に大豆の種まきを行い、今日に至るまで生長の観察や記録、そして草取りなどの活動を行ってきた。2年生の生活科から発展させた、「サケちゃんを調べよう」(3年生1学期)の総合的な学習の時間において見られたように、動物や植物に対して愛情を持って、最後まで飼育・栽培活動をやり遂げることができる。動植物の生命を大切にしようとする意識も行動として表れている。

大豆に関しては、枝豆として食したり、食品や調味料などに加工されたりして利用されていることを見たり、聞いたりしている。しかし、実際に加工されていく過程や、加工された食品に関しては知らないことが多い。また、大豆は私たちの生活や健康を支える貴重な栄養源であることや、昔から日本の食文化に欠かせない作物であることを意識して生活することはあまりない。

これまでの総合的な学習の時間として、「サケちゃんを調べよう」で「サケ」をテーマに課題を作り、解決方法を学習しながらまとめを工夫して発表会を行い、サケの一生について考え、私たちの住む綾里の海や川の素晴らしさについて考えてきた。

本単元では、一人ひとりの児童の思いを大切にしながら、主体的に追求活動を行わせ、自分たちの育てた大豆が、自分たちの生活に大変役立っていることを意欲的に追求できるように支援していきたい。

5. 指導にあたって

本単元では、大豆の栽培や大豆と給食との関わりを通して、課題を設定し、見学や体験、インタビュー、話し合いなどの調べ活動を行う。そして、自分たちの育てた大豆の収穫の喜びを味わい、実際に豆腐作りに挑戦し、さらに自分たちの「食」について考えさせたり健康な生活を送るための意識を高めたりしていきたいと考えている。

本単元の「出会う」の段階では、主に次の二点を重視することで、課題設定の前段階としたい。一つ目は、大豆の栽培やその観察の活動を通して、大豆に対する関心・意欲を高めたい。二つ目は、給食の献立表から大豆と食生活の関わりを意識させたい。給食は、大豆やその加工食品が多く使用された、栄養のバランスを考えた献立であり、自分たちの「食」を考えるための手がかりとなる。そして、栽培活動と「食」との関わりで持った感想や疑問をもとに学習課題を設定する。「見つめる」の段階では、グループ別に課題追求をする。地域の大豆栽培農家の人や大豆に詳しい人にインタビューしたり、味噌や豆腐などの加工食品を作っている所を見学・体験したりしながら、大豆について調べる活動を進め、発表や話し合ったことをまとめさせる。その際、国語科や社会科で学んだインタビューの仕方、メモの取り方、手紙（礼状）の書き方など、相手や目的に応じたコミュニケーションのとり方ができるように指導したい。「広げる」段階では、大豆の収穫を行い、自分たちが育てた大豆を使い、町の豆腐屋さんを講師に招いて豆腐作り体験に挑戦する。体験活動を通じ、豆腐を作る楽しさや難しさを実感させながら、豆腐作り職人の工夫や苦労、豆腐に寄せる思いなどをまとめる。そして自分たちの「食」が色々な人によって支えられていることに感謝したり、「食」のあり方について自分たちが考えていかなければならないことをまとめたりする。これら全ての活動から、自分たちの「食」と健康を考えて生活しようとする意識を高めさせていきたい。

本単元では、見学やインタビュー、体験、話し合いなどの活動が多くなる。これらの活動を通じて問題を解決するための必要な知識や技能として、国語科の内容 A 話すこと・聞くことの「ア 伝えたいことを選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話すこと。」「イ話の中心に気をつけて聞き、自分の感想をまとめること。」「ウ お互いの考えの相違点や共通点を考えながら、進んで話し合うこと。」を指導の重点項目として、国語科との関連を図りながら、指導していきたい。

6. 指導計画（36時間） 内容関連 スキル関連

流れ	時間	学習活動	教科領域との関連	具体的な単元名
出会う	10	「育ててみよう！おいしい大豆」 ・学級園で大豆を栽培し、成長の様子を観察し、発表し合う。	理科（3年） 内容 A 生物と環境 イ 国語（3年及び4年） 内容 A 話す・聞く ウ	「植物の体を調べよう」 「名前をつけよう」 （話し合い）
	1 本 時	「大豆のへんしん！ パート1」 ・給食で使われている大豆について調べ、発表する。	国語（3年及び4年） 内容 A 話す・聞く イウ	「知っている場所を教えます」 （整理して書き発表）
	2 1	「課題を決めよう」 ・栽培活動や給食との関わりでの学習を通して持った感想や疑問をもとに、調べたいことを決める。 ・課題ごとにグループを作り、どのように調べていくか計画を立てる。	国語（3年及び4年） 内容 A 書くこと アイ	「知っている場所を教えます」 （整理して書く）

見つめる	8	「すごいぞ！！大豆」 ・グループごとに設定した課題について調べる。	国語（3年及び4年） 内容A 話す・聞く アイ 算数（3年） 内容D 数量関係 イ	「国語辞典たんけん」 （国語辞典の使い方） 「みんな子どもだった」 （インタビューの方法） 「見やすくせいりしよう」 （棒グラフ）
	2	・調べたことをまとめ、「すごいぞ大豆！！ほうこく会」をする。	国語（3年及び4年） 内容A 話す・聞く アイ	「みんな、こどもだった」 （発表の仕方）
広げる	2	「大豆畑へ レッツ・ゴー！」 ・これまでの大豆の成長に思いを寄せ、収穫の喜びを味わう。	理科（3年） 内容A 生物と環境 イ	「植物の体を調べよう」
	4	「大豆のへんしん！！ パート2」 ・豆腐作り体験を行い、感想をまとめ発表する。	生活科（1年及び2年） 内容（5）	「調理体験活動」
	6	「小さいけど 大豆」 ・大豆がどんな形に姿を変えて、自分たちの生活や健康のために役立っているかをまとめ直し、「大豆のよさについての発表会を開く。	国語（3年及び4年） 内容A 話す・聞く アイ	国語「みんな子どもだった」 （発表の仕方）

7. 評価規準

	主な活動	課題を見つける力	問題を解決する力	豊かに表現する力	生き方を考える力
出会う	大豆の栽培 食との関連学習 課題設定	栽培や食との関連学習での感想・疑問を生かし、課題を設定することができる。		観察を通して、大豆の生長を適切に記録し、感想や疑問を発表することができる。	自然の素晴らしさに気づき、動植物を大切にしようとする態度を育てる。
見つめる	課題の追求 中間報告会	調べて分かったことから、新たな感想や疑問を持つことができる。	図鑑、インターネット、インタビューの方法などの既習事項を使い、課題に沿った情報を集めることができる。	質問したい内容を筋道を立てて考え、インタビューの相手に適切な言葉遣いで質問することができる。 相手や目的に応じて適切に書くことができる。	1学期に学習した問題解決の方法を生かし、課題を追求することができる。
広げる	豆腐作り体験 まとめ 発表会	お互いの意見を分かり合うために何に気をつけるか考えることができる。	相手の発表や意見の良いところや自分の考えと違うところを見つけ、課題にせまることができる。	調べたことを整理しまとめ、伝えたいことや自分の考えを分かりやすく発表することができる。	食物に対して感謝の気持ちを持つことができる。 豆腐職人の工夫や苦勞を知り、感謝の心をもつことができる。

8. 本時の指導

(1) ねらい

給食の献立調べで分かったことや考えたことを説明したり、発表者の話を聞いたりすることができる。

給食の献立表や栄養士の話から、大豆と食生活との関わりや歴史を理解し、感想や疑問をまとめることができる。

(2) 基礎基本の定着を目指して

国語 A 話すこと・聞くこと

(1) ア「伝えたいことを選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話すこと。」

イ「話の中心に気をつけて聞き、自分の感想をまとめること。」

(3) 本時の流れ

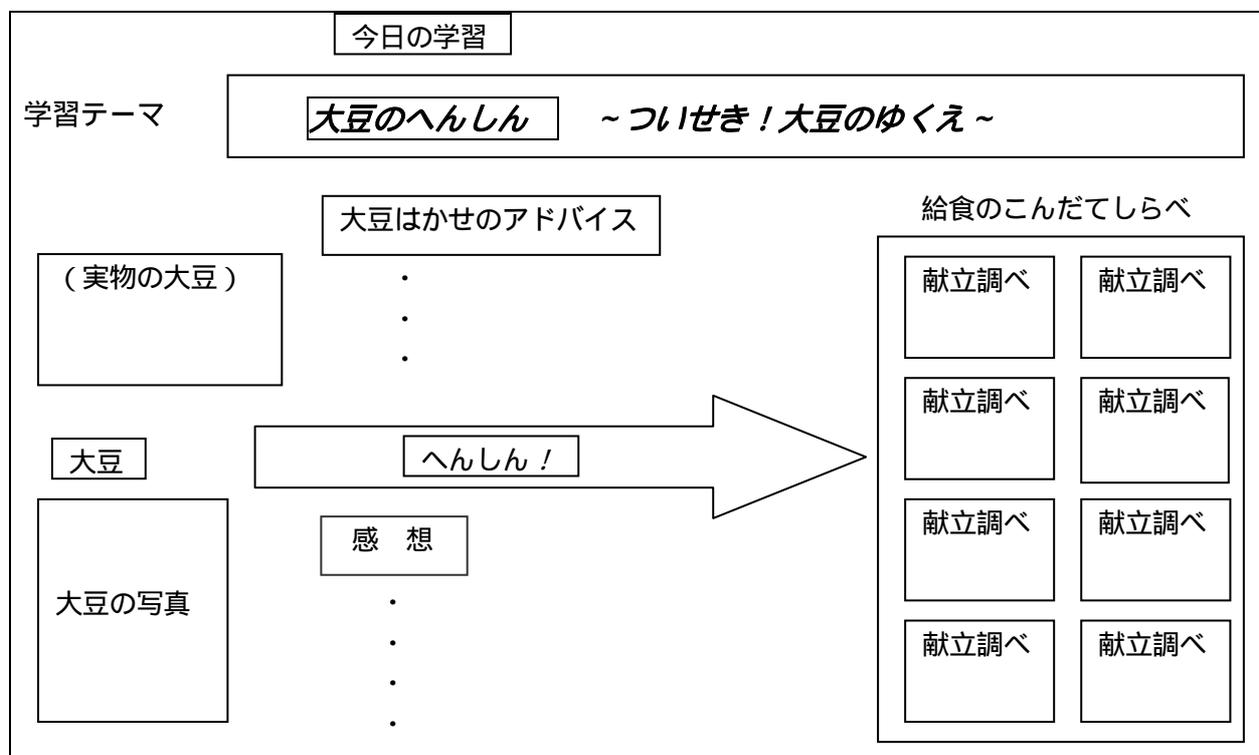
「出会う」では、学習のテーマを確認し、給食の献立調べを行っていたことを想起させて、本時の学習課題を意識させる。「見つめる」では、給食の献立調べで分かったことや気づいたことを発表し合い、大豆が良く使われている事実を確かめ合う。そして、ゲストティーチャーから給食の献立に関することや、大豆と食生活との関連等を説明してもらい、大豆が自分たちの生活に欠かせない作物であることを意識させ、学習を通して分かったことや、感想、疑問をまとめ、発表しあう。「広げる」では、本時の学習に対する自己評価を行い、次時の学習内容を確認する。

(4) 展開

	児童の活動	支援 基礎・基本の定着	評価
出 会 う	1. 学習テーマの確認 大豆のへんしん ~ついでき!大豆のゆくえ~		
	2. 給食の献立調べを想起する。 3. 本時の学習内容を知る。 大豆のへんしん! ~パート1~	給食の献立調べをしてきた目的や期間を想起させ、本時の課題を意識させる。 どのように本時の学習を進めるかを指示し、学習の流れを確認させる。	学習の流れを確認することができたか。(挙手)
見 つ め る	4. 給食の献立から調べていた大豆食品を発表する。 ・グループごとの発表	国語科「みんな子どもだった」で学習した発表の仕方を確認する。 国語科「名前をつけよう」で学習した、話の聞き方を確認する。	発表の仕方を意識して、みんなに伝えることができたか。(教師の評価とプリントでの自己評価)
	5. 大豆博士の話を聞く。 ・献立に大豆を多く使用する理由 ・大豆の栄養、歴史など	感想や疑問に思ったことを書きやすいよう、話を聞きながらメモを取らせる。	メモを取りながら話を聞くことができたか。(プリント)

	6. 献立調べや大豆博士の話を聞いて分かったことや感想、疑問をまとめ発表する。	学習シートに、感想、疑問に思ったことをまとめさせる。	感想や疑問をまとめることができたか。(プリント)
広げる	7. 学習について振り返る。 ・自己評価をする。 8. 次時の学習内容を確認する。	栽培や本時の感想や不思議に思ったことは次時の課題設定と関わることを告げる。	今後の学習に意欲を持つことができたか。(挙手)

9. 板書計画



「大豆のへんしん！ パート1」

月 日() 時間目

名 前

大豆はかせの話で分かったことをかきましょう。

かんそうを書こう

ふしぎに思ったことを書こう

今日の学習をふりかえろう

1	発表のやくそくに気をつけて、発表できましたか。	
2	かんそうやふしぎに思うことをたくさんかけましたか。	
3	今日の学習で、なんとなくでもか題をイメージできましたか。	

先生から すごい！！ がんばった もう少し